

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう



サムエルが あらかじめ もっていた こと

いのり _____ しかいしゃ
 しとしんじょう _____ みんなで
 さんび _____ しんさんびか 270 ばん (きゅう 214 ばん) 「すくいぬしのあいと」、ていこくいり (2020 ねんこどもさんび)
 せいしよ _____ I サムエル 3:19

I サムエル 3:19 サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことは一つも地に落とされなかった。

みことば _____ サムエルが あらかじめ もっていた こと _____ しかいしゃ

ペリシテという国は偶像を崇拝する大きくて強い国でした。そのような国が、神様の民であるイスラエルをいつも攻撃して、苦しめていました。そのような時代を霊的な目で見ても、神様の契約を握っていたお母さん、ハンナの祈りによって生まれた人がサムエルでした。

サムエルはハンナの祈りのとおり、幼い時から神殿で生活をする中で、ある日神様の御声を聞きました。神様はサムエルとともにおられ、サムエルの祈りをひとつものがすことなく答えてくださいました。預言者であったサムエルは、イスラエル全体に神様のみことばを伝えました。すべての民をミツパに集めて、悔い改め、霊的に目覚めさせました。そして、サムエルが生きている間、ペリシテはイスラエルを攻撃しませんでした。また、サムエルはダビデという次の世代を見つけてイスラエルの王として準備しました。

私たちは、サムエルのように神様がともにおられ、神様がくださる力で勝利するように呼ばれた神様のレムナントです！きょうも、神様のみことばに耳を傾けましょう。

いのり _____ いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

かみさま ありがとうございます！ かみさまと ともにいて れいてきな ちからを そなえていたサムエルのように わたしも まいにち ふくいんである イエス・キリストを もっと ふかくして あじわい、 ぜんせかい 237 かこくに つたえますように。
いきておられる イエス・キリストの みなによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり _____ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
✓ チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どよう

みことば あんしゅう

あま〜い
133

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいつつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

24

げつようび

サムエルは せいちょうした。

しゅは

かれと ともに おられ、

かれの ことばを

ひとつも ちに おとされなかった。

1サムエル 3しょう19せつのみことば



かみさまは ダビデを おさない ときから かみさまの みことぼと かみさまの みちびきによって ととのえて そだててくださいました。いま わたしも ダビデのように じゅんびさせて くださっています。したの せいしょの みことぼを おおきな こえで よんで つぎのページから ただしい ものを きりとって はって えを かんせいさせましょう。

じゅんびするもの | はさみ、のり、つぎのページ



しかし、
このかたを うけいれた ひとびと、
すなわち、そのなを しんじた ひとびとには、
かみのこどもと される
とっけんを おあたえになった。
(ヨハネ 1:12)



わたしは ちちに おねがいます。
そうすれば、ちちは もうひとりの
たすけぬしを あなたがたに おあたえに
なります。その たすけぬしが いつまでも
あなたがたと、ともに おられる ためです。
(ヨハネ 14:16)



あなたがたは いままで、
なにも わたしの なに よって
もとめたことは ありません。
もとめなさい。
そうすれば うけるのです。
それは あなたがたの
よるこびが みちみちたもの
となるためです。
(ヨハネ 16:24)



いのりの こたえ

かみの こども

せいれい みちびき

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで あいている ところに あう
ことばを かきましょう。

は ハンナの いのりのとおり、

おさないときから で

せいかつを するなかで、あるひ

の を ききました。

かみさまは サムエルと ともに おられ、

サムエルの いのりを

くださいました。

しんでん、ひとつも のがすことなく、サムエル、こたえて、みこえ、かみさま

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

27

もくようび

ダビデは おうに なった あと けいやくの はこを おく しんでんを
じゅんびしました。そして その はたらきを させて くださった
かみさまに かんしゃして すべての えいこうを かみさまに ささげ
ました。すべての たみと ともに よろこびの ところで ささげものを
ささげて かみさまを さんびする ダビデの すがたに いろを ぬりながら
かみさまが わたしたちの きょうかいに くださった こんしゅうの
こうだんの みことばを もくそうしましょう

じゅんびするもの | いろをぬる どうぐ



パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

わたしと わたしの かぞくが みことばを もくそうして いのる
じかんは いつですか。わたしの かぞくは かみさまと ともに いる
じかんを どのように おくっていますか。 いっしょに はなしを して
えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
こころに きざみましよう

モーセの ように わたしも かみさまが けいやくを なしとげる
ために よばれました。 つぎの ページからの どうわを
パパとママと いっしょに よんで しどうしゃ モーセに
いって あげたい ことを いいましよう。

じゅんぴするもの | つぎのページからの どうわ

せいしよどうわを よんで しゅじんこうに こえを かけよう!



1. せいしよどうわを よみます
2. しゅじんこうに いいたい ことばを かんがえましよう
3. ふさわしい ときに しゅじんこうに こえを かけましよう
4. しゅじんこうは わたしと パパとママに なにを いってくれますか
5. かみさまに かんしゃの いのりを して おわりましよう。

イスラエルの たみは エジプトの どれいでした。
いちにちじゆう ぐうぞうの ための しんでんを つくって
そこで もらった ものを たべていました。

「まいにち がんばって はたらいて いるけれど たべるのが
やっつで いきている……」

「いったい ヤコブの かみさまは どこに おられるのか」

しごとは とても くるしくて だんだん かみさまを
うらむように になりました。



あるひ エジプトの おう パロは
どれいの イスラエルの たみが
だんだん ふえるのを みて こわくなりました。

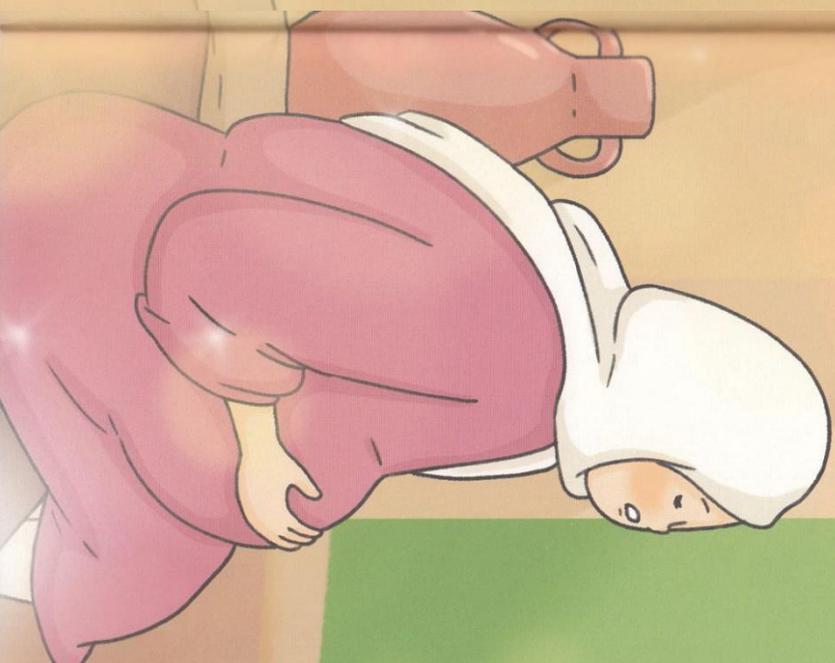
「きょうから イスラエルで おとこのこが うまれたら
ひとりも のがさず せんぶ ころせ！」

なにも わるいことを していないのに こどもたちは
うまれたら すぐに ころされました。



そのとき こどもが おなかに いた ヨケベデは
おなかに てを おいて いのりしました。

「わたしたちの せんそ アブラハムに やくそくされた とおり
ヨセフを まず おくって わたしたちを このちまで
みちびかれた かみさま、かならず わたしたちを すくうために
おんなの しそんが こられる ことを しんじます。
かみさまが なさることが このこを とおして なされますように」



「おぎゃ〜！」

ヨケベデが こどもを うみました。

じよさんぶは あかんぼうの かおを みて、
ころすことは できませんでした。

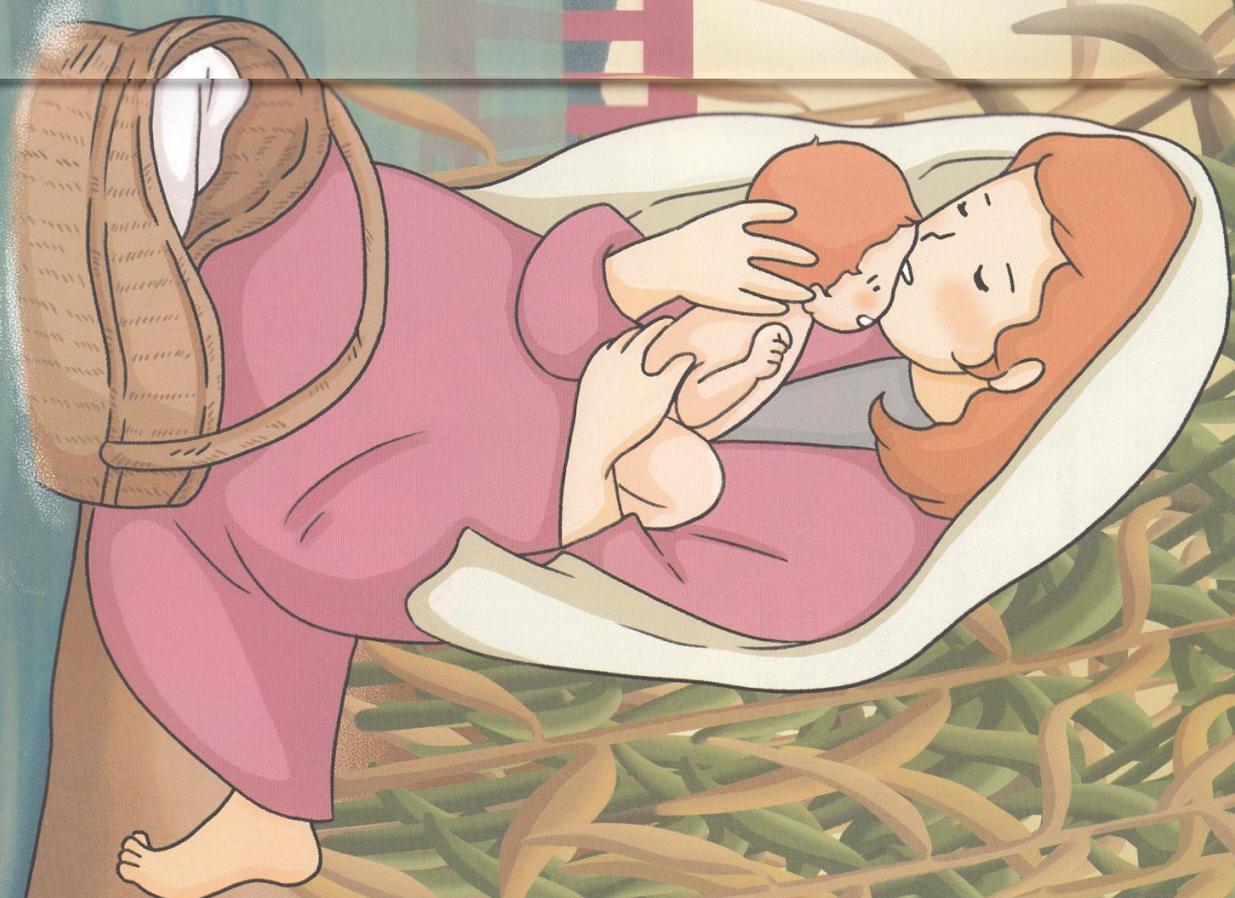
しかし こどもを ながいあいだ かくして おくことは
できませんでした。

ヨケベデは かごに れきせいと じゆしを ぬって
その なかに あかんぼうを いれました。

「けいやくの かみさま、

このこを かみさまの けいやくが なしとげられる ところに
おくってください」

ヨケベデは ながれる かわの きしに その かごを おきました。



あかんぼうが はいった かごを みずあびに きた
エジプトの おうじよが みつけました。

「あら かわいいそうに。」

このこは わたしが そだてましょう」

あかんぼうが どうなるか しろうとして とおくに はなれて
たっていた そのこの おねえさんが おうじよの ところに
いつて いいました。

「わたしが こどもの ために ちちを のませる うばを
よんで きましようか」

「そうしておくれ。 こどもの なまえは モーセは しましよう」

モーセの おかあさんヨケベデは うばと なって
モーセに ちちを のませることが できました。

「モーセ、 しぬしか なかった あなたを
かみさまが すくってくださったね。

かみさまが あなたに おんなの しそんで ある キリストの
けいやくを つたえることを ねがって おられますね」

ヨケベデは こころに とどめていた けいやくを モーセに
はなして あげました。





おとなに なった モーセは ヨケベデの ことばを
こころの ふかくに とどめていました。

「かみさまを はなれた ひとは サタンの どれいなんだな」
「サタンの あたまを ふみくだく おんなの しそんが こられるのだな」

あるひ みちを あるいていた モーセは
エジプトじんが イスラエルじんを ぐるしめて
むちを うって いるのを みました。

モーセは その しゅんかん はらが たつて
エジプトじんを おしたおしました。

そのとき エジプトじんは たおれて そこで しんで しまいました。
モーセは おそろしくなつて あらのに にげました。

そののち モーセは ながい あいだ
あらので ひつじを かって くらしていました。
ひとりで いる ときには ヨケベテから きいた ことばを
よく おもいだして いました。

「かみさまは わたしたちが つみを おかす ときごとに
ひつじの ちを ながせば ゆるしてくださいます」
「のちに キリストが こられたら わたしたちの
すべての つみは ゆるされます」



あるひ モーセは いつものように ひつじの むれを つれて
ホレテのやまに いきました。
そこで かみさまの みこえを きいたのです。

「モーセ、あなたは エジプトに いって
イスラエルの たみを つれてきて
この いけにえを ささげなさい」

「この いけにえとは キリストの けいやくだけれど……？」
「かみさま、わたしは ちからが ありません」

そのとき かみさまが いわれました。

「わたしは しゆである」



モーセは みことばに ききたがって つえを もって
エジプトに いきました。
かみさまは そのような モーセと ともに おられました。

かみさまは エジプトに 9つの わざわいを くだされました。
しかし エジプトのおう パロは イスラエルの たみを
さいごまで いかせて くれませんでした。

そのとき かみさまが さいごに いわれました。

「きよりの よる エジプトの いちばんめの こどもは
すべて しぬ。しかし かもいと もんちゆうに
ひつじの ちを ぬった ものは いきる」

かもいと もんちゆうに ひつじの ちを ぬった ひ
イスラエルの たみは みんな エジプトの どれいから
かいほうされました。

「キリストが こられる ひ、

わたしたちは そのかたの ちに よって

サタンの どれいから かいほうされるのだな……」

モーセは ヨケベテから きいていた みことばを おもいました。

モーセは まえと おなじように ちからは ありませんでした。

しかし ヨケベテから きいた けいやくの ちからが

いつも こころの なか ふかくに ねを おろして いました。

モーセは そのちからで イスラエルの たみを

かみさまが やくそくされた ちに みちびいたのです。

